



平成22年2月3日

各位

会社名 大日本住友製薬株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 多田 正世  
 (コード: 4506、東証・大証第1部)  
 問合せ先 コーポレート・コミュニケーション部長 樋口 敦子  
 (TEL. 06-6203-1407)

### 平成22年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

セプラコール社の子会社化に伴う通期業績への影響および最近の業績の動向を踏まえ、平成21年10月29日に公表した平成22年3月期の業績予想を修正いたしましたので、お知らせいたします。

(金額の単位: 百万円)

#### 1. 平成22年3月期通期連結業績予想の修正 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	264,000	29,000	27,000	18,000	45円30銭
今回発表予想 (B)	295,000	31,000	29,000	19,000	47円82銭
増減額 (B - A)	31,000	2,000	2,000	1,000	
増減率 (%)	11.7	6.9	7.4	5.6	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	264,037	31,166	31,395	19,987	50円30銭

#### 2. 平成22年3月期通期個別業績予想の修正 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	245,000	27,300	25,400	16,500	35円49銭
今回発表予想 (B)	247,500	30,300	28,900	18,500	46円56銭
増減額 (B - A)	2,500	3,000	3,500	2,000	
増減率 (%)	1.0	11.0	13.8	12.1	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	248,433	30,582	30,893	19,729	49円65銭

#### 3. 修正の理由

平成21年10月15日にセプラコール社を子会社化したことに伴い、セプラコール社を含む米国子会社(※)を新たに連結の範囲に加えました。これにより米国子会社の10-12月業績が第4四半期に合算されることとなります。

まず、米国子会社の新規連結に伴う影響を含まない従来ベースの業績は、医薬品事業の売上げ増加、販売費及び一般管理費の減少などにより、売上高で 25 億円、営業利益で 30 億円、経常利益で 35 億円、当期純利益で 20 億円、前回予想をそれぞれ上回る見込みです。

また、セプラコール社買収に伴う企業結合会計処理を行う前の米国子会社の業績は、売上高 285 億円、営業利益 100 億円、経常利益 95 億円、当期純利益 60 億円となる見込みです。

一方、セプラコール社買収に伴う特許権やのれんの償却額等の影響が、営業利益および経常利益で 110 億円、当期純利益で 70 億円ある見込みです。

これらのことから、平成 22 年 3 月期連結業績予想は、平成 21 年 10 月 29 日の公表値に対し、売上高は 310 億円増の 2,950 億円、営業利益は 20 億円増の 310 億円、経常利益は 20 億円増の 290 億円、当期純利益は 10 億円増の 190 億円を見込んでおります。

なお、平成 22 年 3 月期個別業績予想に関しては、医薬品事業の売上げ増加、販売費及び一般管理費の減少などにより、売上高で 25 億円、営業利益で 30 億円、経常利益で 35 億円、当期純利益で 20 億円、前回予想をそれぞれ上回る見込みです。

※米国子会社：Dainippon Sumitomo Pharma America Holdings, Inc.  
Dainippon Sumitomo Pharma America, Inc.  
Sepracor Inc. およびその連結子会社

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、今後さまざまな要因により異なる結果となる可能性があります。

以 上